



平成29年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年9月13日

上場会社名 ヤーマン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6630 URL http://www.ya-man.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山崎 貴三代
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)宮崎 昌也 (TEL) 03-5665-7330
 四半期報告書提出予定日 平成28年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第1四半期の連結業績(平成28年5月1日～平成28年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第1四半期	5,564	23.9	1,107	122.8	1,112	146.3	738	165.9
28年4月期第1四半期	4,489	36.6	496	—	451	—	277	—

(注) 包括利益 29年4月期第1四半期 735百万円(165.9%) 28年4月期第1四半期 276百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第1四半期	129.57	—
28年4月期第1四半期	47.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年4月期第1四半期	12,080	7,450	61.7
28年4月期	11,373	6,817	59.9

(参考) 自己資本 29年4月期第1四半期 7,450百万円 28年4月期 6,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	—	18.00	—	18.00	36.00
29年4月期	—	—	—	—	—
29年4月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年4月期の連結業績予想(平成28年5月1日～平成29年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,896	18.3	1,463	136.7	1,462	150.0	956	177.2	167.66
通期	18,448	13.1	1,892	84.0	1,881	87.7	1,215	105.4	213.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年4月期1Q	5,834,888株	28年4月期	5,834,888株
29年4月期1Q	132,039株	28年4月期	132,039株
29年4月期1Q	5,702,849株	28年4月期1Q	5,834,736株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(2) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年7月31日)におけるわが国経済は、企業業績の回復や個人消費の持ち直しなどにより緩やかな回復基調で推移したものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、引き続きコスト削減や社内体制の整備などの足元の体質強化を図りつつ、ブランドイメージの向上や国内外の新たな販路の開拓などにも注力してまいりました。

通販・店販・直販の各販売チャネルともに売上が好調だったことに加え、原価低減の取り組みが奏功したことや、為替が円高方向に推移した影響などにより、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,564百万円(前年同四半期比23.9%増)、経常利益は1,112百万円(前年同四半期比146.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は738百万円(前年同四半期比165.9%増)と前年同四半期を大幅に上回る結果となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 通販部門

通販部門では、テレビによる通信販売業者を経由した個人顧客への販売、カタログ通販会社向けの販売、インターネット専売業者向けの販売を行っております。

ショッピング専門チャンネル向けは振るいませんでしたが、その他の販売先が好調であったため、売上高は1,560百万円(前年同四半期比22.2%増)、セグメント利益は676百万円(前年同四半期比61.8%増)と前年同四半期を上回りました。

② 店販部門

店販部門では、家電量販店、大手百貨店、バラエティショップ等への販売を行っております。

大手家電量販店向け卸売事業における販売形態の直接取引化が一巡し、安定的に売上を獲得したほか、免税店向け卸売事業が伸長したことなどにより、売上高は1,497百万円(前年同四半期比25.9%増)、セグメント利益は624百万円(前年同四半期比61.2%増)と前年同四半期を上回りました。

③ 直販部門

直販部門では、インフォーマーシャルや雑誌、新聞、Web等を用いた個人顧客への販売を行っております。

インフォーマーシャルや各種媒体広告について、売上に対する効率を重視して行う方針を継続しつつ、ブランドを俯瞰した広告にも金額を投下した結果、売上高は1,804百万円(前年同四半期比5.2%減)と前年同四半期並みでしたが、セグメント利益は372百万円(前年同四半期比25.6%減)と前年同四半期に及びませんでした。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ706百万円増加し、12,080百万円となりました。現金及び預金の増加303百万円、受取手形及び売掛金の増加218百万円、未収入金の増加314百万円、有形固定資産の減少125百万円が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ73百万円増加し、4,629百万円となりました。支払手形及び買掛金の増加70百万円、未払法人税等の増加138百万円、長期借入金の減少120百万円が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ633百万円増加し、7,450百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上738百万円及び剰余金の配当102百万円による利益剰余金の増加636百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降につきましては、コスト削減や社内体制の整備などの取り組みを継続して行っていくほか、新製品の研究開発やヤーマンブランドの浸透にも注力し、更なる業績拡大を目指してまいります。

なお、平成28年8月15日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,813,824	6,117,508
受取手形及び売掛金	1,898,257	2,116,483
有価証券	50,179	—
商品及び製品	1,470,464	1,541,646
仕掛品	82,327	75,846
原材料及び貯蔵品	240,781	236,856
未収入金	720,986	1,035,441
その他	251,249	227,974
貸倒引当金	—	△4,515
流動資産合計	10,528,069	11,347,241
固定資産		
有形固定資産	532,962	407,423
無形固定資産	157,658	163,027
投資その他の資産	154,902	162,520
固定資産合計	845,523	732,971
資産合計	11,373,593	12,080,212
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,194,229	1,264,330
1年内返済予定の長期借入金	483,960	483,960
未払金	1,137,657	1,119,222
未払法人税等	298,861	437,343
賞与引当金	31,170	17,037
返品調整引当金	115,189	86,192
その他	196,635	244,645
流動負債合計	3,457,702	3,652,733
固定負債		
長期借入金	1,093,682	972,692
その他	4,931	4,451
固定負債合計	1,098,613	977,143
負債合計	4,556,315	4,629,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,813,796	1,813,796
資本剰余金	1,313,795	1,313,795
利益剰余金	3,984,495	4,620,743
自己株式	△292,923	△292,923
株主資本合計	6,819,164	7,455,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,809	3,073
為替換算調整勘定	△4,695	△8,149
その他の包括利益累計額合計	△1,886	△5,075
純資産合計	6,817,278	7,450,336
負債純資産合計	11,373,593	12,080,212

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)
売上高	4,489,149	5,564,203
売上原価	1,759,583	1,913,831
売上総利益	2,729,565	3,650,372
返品調整引当金戻入額	128,293	115,189
返品調整引当金繰入額	124,460	86,192
差引売上総利益	2,733,398	3,679,368
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,054,075	1,255,208
貸倒引当金繰入額	1,399	5,252
給料及び手当	154,364	173,462
賞与引当金繰入額	13,562	17,037
減価償却費	21,718	13,579
研究開発費	30,280	39,795
その他	961,039	1,067,678
販売費及び一般管理費合計	2,236,440	2,572,014
営業利益	496,957	1,107,353
営業外収益		
受取利息	139	107
受取配当金	293	26
為替差益	—	11,956
その他	2,014	1,644
営業外収益合計	2,448	13,735
営業外費用		
支払利息	3,875	4,254
為替差損	37,381	—
売上割引	2,401	1,769
その他	4,036	2,640
営業外費用合計	47,695	8,665
経常利益	451,710	1,112,423
特別利益		
固定資産売却益	—	31,921
特別利益合計	—	31,921
特別損失		
固定資産除却損	3,620	2,224
特別損失合計	3,620	2,224
税金等調整前四半期純利益	448,090	1,142,119
法人税等	170,210	403,220
四半期純利益	277,880	738,898
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	277,880	738,898

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)
四半期純利益	277,880	738,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,181	263
為替換算調整勘定	△28	△3,453
その他の包括利益合計	△1,210	△3,189
四半期包括利益	276,669	735,709
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276,669	735,709
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成27年5月1日至平成27年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,276,595	1,190,012	1,902,912	4,369,520	119,628	4,489,149	—	4,489,149
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	10,085	10,085	△10,085	—
計	1,276,595	1,190,012	1,902,912	4,369,520	129,714	4,499,235	△10,085	4,489,149
セグメント利益	418,277	387,229	500,607	1,306,115	6,069	1,312,185	△815,227	496,957

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門、YA-MAN U.S.A LTD.等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△815,227千円には、セグメント間取引消去7,800千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△823,027千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年7月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,560,131	1,497,824	1,804,248	4,862,203	702,000	5,564,203	—	5,564,203
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	8,757	8,757	△8,757	—
計	1,560,131	1,497,824	1,804,248	4,862,203	710,757	5,572,960	△8,757	5,564,203
セグメント利益	676,596	624,108	372,547	1,673,251	204,949	1,878,200	△770,847	1,107,353

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門、YA-MAN U.S.A LTD.等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△770,847千円には、セグメント間取引消去7,800千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△778,647千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。